

イラクで相次ぐ自爆テロ

指導者を失ったイラク。民主化され、新政権が誕生した。アメリカはイラク戦争の時から対立する北部の**クルド人自治区**を支援していて、この自治区は「第2のドバイ」と呼ばれるほど発達していた。そして新政権では、なんとクルド人の大統領が誕生したんだ。

※クルド人はユダヤ人同様国家を持たない民族。世界に3000万人いると言われ、正規軍も持ってる。イスラエル誕生後は世界最大の"少数民族"になった。

明らかに親米路線を行くクルド人にイラクは怒りをためる。でも、事実上イラクは力を持たない。その結果、人々は**自爆テロ**を引き起こし、抵抗を続けた



とんでもない組織、イスラム国の原型が生まれる！

アメリカはイラク北部のクルド人自治区を切り離してトルコまでパイプラインをつなぎ、クルド人自治区の石油を採り出し始めた。**イラク国内の貧困と裏腹に成長するクルド人自治区。**

今まで政権を担当していたイラクの人々（スンニ派）は国を追われた。そして、そんな混乱に乗って**ムジャヒディン**と呼ばれる、あの**アフガニスタン戦争**の時の義勇兵達がイラクに入ってきた。そしてイラクで勢力をどんどん大きくしていった(;'(I')彼らは自爆テロを次々に起こし、影響力を拡大していった。



"アラブの春"で相次ぐ民主化！のはずが、、

2010年チュニジアで1人の青年が焼身自殺をしたことがきっかけで**ジャスミン革命**という民主化運動が起こり、これがインターネットを通じて周辺諸国に広がっていった（**アラブの春**）

- ・チュニジアのベン＝アリー政権崩壊
- ・エジプトのムバラク政権崩壊
- ・リビアのカダフィ政権崩壊
- ・イエメンのサーレハ政権崩壊

でも、この運動はさらなる混乱も生み出した。イラク北部のシリアではアサド政権と民衆が内戦状態に。政府軍がサリンを使うなど世界の非難を浴び、民衆に応援の声が集まる。だが、、